

# 目次

## 第一章 「場」の社会史 6

- 1 「場」の概念
- 2 惣村社会の成立と勤勉革命
- 3 「場」という生活空間の変化
- 4 「タテ社会」以後の日本社会

## 第二章 青少年の生活空間の社会史 13

- 1 元禄・享保体制時代
- 2 近代的教育システム以後
- 3 学校改革運動
- 4 産業構造の変化と学校文化

## 第三章 「場」の機能 20

- 1 「場」が我々にもたらしたもの
- 2 「場」の解体の予感
- 3 〈世間〉から〈市場〉へ
- 4 〈市場〉育ち世代の動機づけのメカニズム
- 5 〈世間〉なき時代の孤独

## 第四章 「場」をめぐる現状 25

- 1 家庭
- 2 学校
- 3 地域社会
- 4 居場所がないという思い
- 5 まとめ—子どもの生活空間のあるべき姿

## 第五章 調査の記録 39

- 1 はじめに
- 2 学校の状況
- 3 学校外の生活
- 4 親子関係・家庭生活
- 5 ポジティブ・ネガティブな動機づけ

## 第六章 中学生たちのおかれた状況 50

- 1 はじめに
- 2 中学校という特殊な空間
- 3 発達過程の中の中学校
- 4 我々が迎えた分岐点
- 5 「連」的關係の教育環境のイメージ
- 6 動機形成から見た教育環境